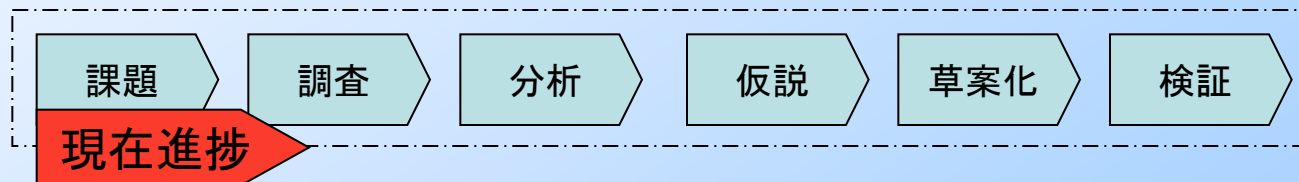


I 要件定義の進捗状況

1. 中間評価結果を反映し、医科学DB統合のロールモデルを提示することを目標として、業務を進めている。
2. 要素技術としての検索エンジン、オントロジー等はプロトタイプとしての設計仕様をまとめている。
 - ✓ ISO, WHOの場での国際標準化などを計画進行している。
3. 国際的で広範囲な倫理規定の基本調査を行っている。草案作成のためのステップ項目を策定し、各項目ごとの必要案を検討している。



・統合化にあたり想定される法的倫理的社会的課題はなにかを調査/想定し、それらに対応するべく公開倫理規定を策定する。

・HIPPA法の様な制約条項の必要性
 ・Icelandの様に臨床情報が売買される事のPros/Cons

・公開倫理規定草案の策定
 最新(現時点で包括的)かつ将来を洞察する国際的な視点で
 ・法的 ・社会的
 ・倫理的 ・技術的
 課題をふまえたもの

Ⅱ プロトタイプシステムの進捗状況

1. 東京医科歯科大学が既に有する「網羅的疾患分子病態DB」をモデルとし、「がん」を優先してプロトタイプシステムを構築している。

- ✓ 統合化対象DBとして、国立がんセンター研究所のGeMDBJを加えることで、統合化の効果、課題等を明確にする。現在、具体的な連携方法についての検討を行っており、今年度中の公開を目指している。
- ✓ 肝細胞癌、大腸癌に特化して、使用されているターミノロジー、シソーラスなどを手作業にて収集作成している。同時に自動作業化の試みも行っている。
- ✓ 検索GUIを、より直感的な操作を可能とする新たなパネル方式を立案し、試作している最中である。

2. 他疾患への本モデルの適応を検証するため、大阪大学の「パーキンソン病DB」は症例を追加し、継続的に統合化を進めている。

